

## 2018 年度決算説明会 主な質疑応答

・日時 : 2019 年 5 月 10 日 (金) 10:00~11:30

・場所 : 大和証券 スカイホール

代表取締役社長	最高経営責任者 CEO	清水 洋史
取締役	最高財務責任者 CFO	松本 智樹
取締役	Blommer Chocolate Company Chairman	酒井 幹夫
取締役	不二製油(株)代表取締役社長	大森 達司
上席執行役員	最高経営戦略責任者 CSO	丸橋 康浩

### <ブラマー社業績について>

#### Q:19 年度と長期的な計画について

A:19 年度は、不二グループ全体としてマルチナショナルカンパニーとの具体的な商談が始まっており、収益が伸ばせると考えている。また、長期的には高利益品の比率の上昇と在庫削減による利益貢献が期待出来る。

### <USS、DHA/EPA>

#### Q:USS 製品の状況と DHA/EPA の進捗について

A:USS を用いた加工品自体は品目数も出てきているが、原料としての販売が低迷しており赤字となっている。DHA/EPA は 19 年度下期から収益貢献を見ており、本格的な収益化は 20 年度と考える。

### <事業の選択と集中について>

#### Q:日本の乳化・発酵素材部門の利益率が低い。再編含めた考え方について。

A:乳化発酵素材にはクリーム、マーガリン、フィリング等があり、より社会のニーズが高い製品へ注力していく必要がある。また SKU 削減などによりコスト削減を進める。

#### Q:事業の考え方、基準について

A:コアコンピタンスから外れたもの、社会環境の変化により伸びないと判断したもの、シナジーを出せないと判断したものは見直していく。

### <19 年度の営業利益 240 億の達成に向けて>

#### Q:19 年度計画の達成に向けた各エリア・セグメントについての状況

A:ブラマーにてカカオの評価損益が発生する可能性がある点、ハラルドにおいてはブラジルの為替により利益が限定される点があるが、一方、油脂については契約状況も順調。また中国では人件費上昇等の固定増を折り込んでいる。更に大豆たん白食品の販売回復に加え、機能剤も伸ばす計画となっており、達成確度は高いと考える。

以上